

安全保障に関するシンクタンク機能 実現の進め方について

2022年11月29日

公益財団法人 未来工学研究所
研究参与 西山淳一

「安全・安心」に係るシシンクタンクの設立

- **中立的立場から国益を考え**
- **政府機関等にデータやエビデンス等に基づき提言する**
- **シンクタンクの設立を目指す**
- **前提条件**

- **公益 (Public Interest)**
- **非営利 (Not-for-Profit)**
- **利益相反なし (Conflict-Free)**

実行方法

- **外部組織としての本格的な設立を目指す**
- **省庁の枠にとらわれない議論の実施を可能とする**
 - 要求元省庁及び研究機関等からの出向者・兼務者と経験有識者による混成チームを構成する
 - 所属組織の制約を受けない経験有識者の幅広い知見の活用により、政府組織、研究機関、企等業の各々の目的、枠組み、制約を超えた横断的な安全保障上のニーズの特定を行い、シーズとのマッチングを実施する
- **フラットな議論の場を提供し、上下関係に制約されない議論を行う**
 - “Everybody has an equal voice”
- **研究機関・大学が安全保障研究に参加するための場を提供する**
 - 連携大学院制度による学位プログラムを実施する
 - 独自研究等により人材を育成する

● 新たな視点と手法の採用

・ ニーズとシーズのマッチング

- ・ 課題の明確化、分析など、検討の初期の段階から、科学的分析に最新のデジタル技術を用い効果の可視化を行い、全てのステークホルダー（ニーズ側とシーズ側）間での多角的な議論を実現する

・ 科学技術的な手法に基づく分析

- ・ システムエンジニアリング、データベース、最新のシミュレーション技術を活用する

・ 安全保障上の出口戦略の明確化と効果の把握

- ・ 技術研究の活用方法を多角的な議論を通じて明確化するとともに、新たな技術を適用した効果について最新のシミュレーション技術を用いて分析する

● 実施内容

・ ニーズの特定

- ・ 現状の考え方に捉われずニーズを明らかにする

・ シーズの発掘

- ・ 国内外の研究機関、大学、スタートアップ企業、ベンチャー企業等の基礎から応用研究に至る成果を活用する

・ マッチングの実施

- ・ ニーズとシーズのマッチングを行い、研究の具体化を行う

● 体制構築のポイント

・ タスク検討チーム

- ・ 安全保障上重要なタスクを設定する
- ・ 初期ニーズとシーズのマッチングを行い、タスクを設定しプロジェクトチームを立ち上げる
- ・ プロジェクトチームにニーズ・シーズチームから適切な要員を割り当てる

・ 海外研究機関との連携

- ・ 米国MITRE、RANDなどのFFRDCとの情報交換、共同研究などを行う

FFRDC: Federally Funded Research
and Development Center

- **具体的実施内容**

- **データの集約**

- ・ 外交、軍事、経済、安全保障、技術に係る国内外の情報を、相関付けて、データとして集約

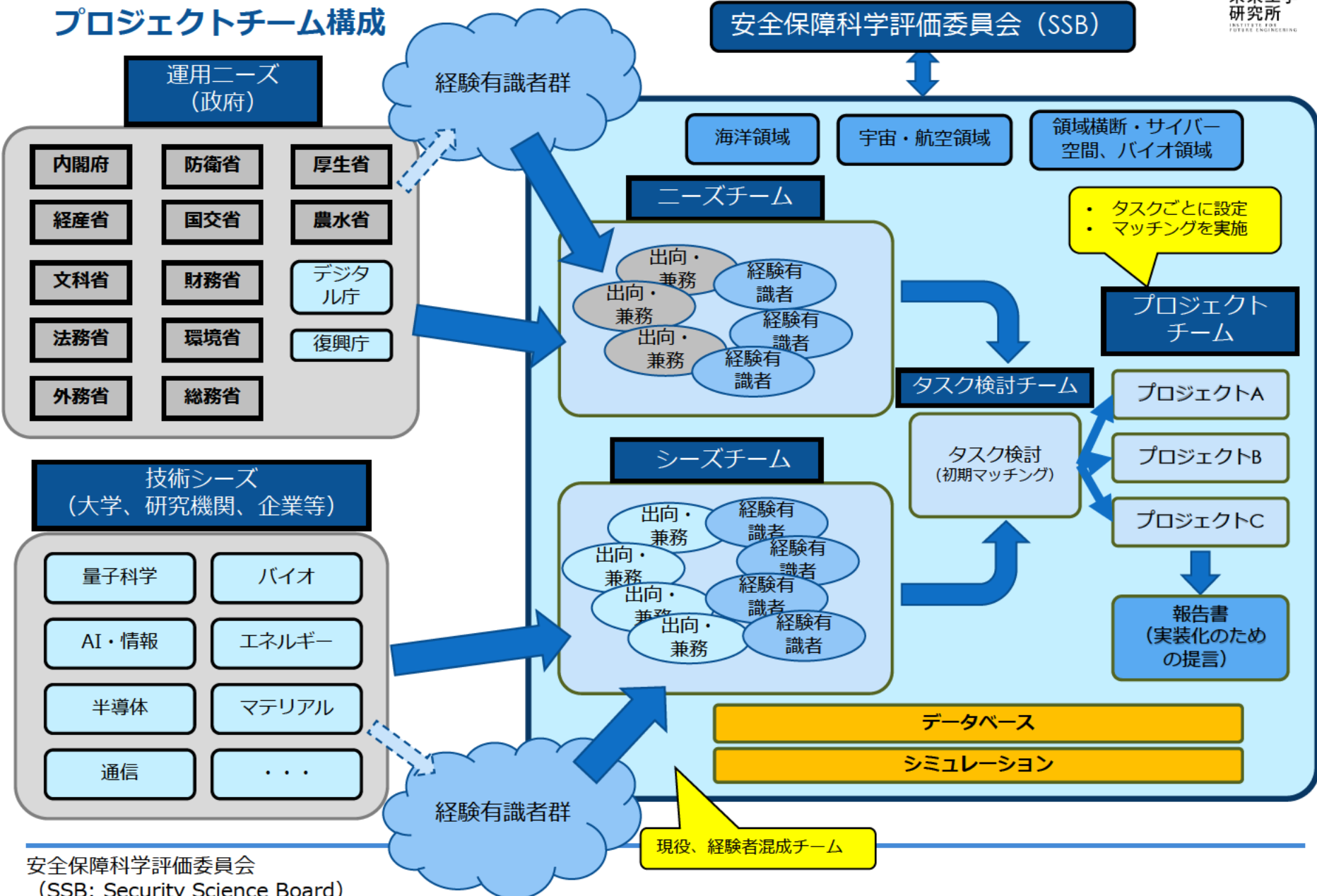
- **独自研究の実施**

- ・ 省庁からの要求に加え、独自に研究テーマを設定し、研究を行い政策提言を実施

- **安全保障科学評価委員会（SSB : Security Science Board）の設置**

- ・ シンクタンクの政策提言や態勢等を総合的（外交・政治・産業）見地から検討、評価
- ・ 外交、軍事、経済、安全保障、技術等、各分野の専門家により構成

プロジェクトチーム構成



● 実施項目

• 機能の明確化

- ニーズ特定要領
- シーズ発掘要領
- 人材育成要領

• 体制の確立

- 統括チーム
- ニーズチーム
- シーズチーム
- タスクチーム
- プロジェクトチーム
- 評価委員会 (SSB)
- 管理部門

• 人材発掘

- 人材発掘チームの設定
- ニーズ人材の発掘 (経験有識者)
- シーズ人材の発掘 (研究者、企業経験者、経験有識者)
- 人材育成 (大学、研究機関との連携、OJT、独自研究の実施等)

• 計画立案

- 段階的設立計画案策定
- スケジュール

• 法人形態

OJT: On the Job Training
SSB : Security Science Board